

## UNIT41 Question tags

- A. ・付加疑問文とは文章の最後に加えられる短い疑問文の事である。
- \*付加疑問文はしばしば主語や主語＋動詞が省かれた文章の後でも使われる。
- ・下降調の付加疑問文は自分の意見が正しいと認めてもらう時に使う。
  - ・上昇調の付加疑問文は自分の意見が正しいかどうか定かではない時にそれをたずねるために使う。
- B. ・下降調の疑問文は普通文章が明らかに正しい時に使う。
- ・付加疑問文は感嘆文でも使うことができ、その時は普通下降調になる。
- C. ・主文も付加疑問文も両方が肯定文であるとき、付加疑問文は大体上昇調になる。
- ・このパターンは時に批判的、もしくは皮肉的に使われる。
  - ・(will you, can't you, won't you, would you, or shall we) のような付加疑問文は命令文の後に付け加えられる。この場合、ふつうは上昇調になり、しばしば要求をやわらげるために使われる。

## Unit42

### Cleft sentences 分裂文

- A. 分裂文は二つの部分に分けられ、それによって文中のある部分の情報に特に集中することができる。
- B. what-clefts では what 節の最後に下降上昇調があり、文の別の部分に下降調がある。分裂文の情報の順番が逆になっても同じ。
- C. it-cleft では it で始まる節に下降調があり、関係節の語調は文脈による。